

講師紹介

アトピー性皮膚炎の治療 —皮膚と心を考える—

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター
副所長・教授（皮膚科兼務）

檜垣 祐子先生

アトピー性皮膚炎の治療は、外用療法を中心とした薬物療法に加え、心のケア、つまり①上手なストレス対処と、②ストレス（イライラや焦り）による掻破行動（掻く、擦る、たたく）を減らすことが大切で、患者さんの協力なくしては達成できません。痒くて掻く悪循環には薬物療法を、ストレスで掻く悪循環にはスクラッチ日記を実施します。ストレスには柔軟性のある上手な対処を目指します。これら全てはセルフケア（患者さん自身が行う治療行動）に含まれます。セルフケアが実行できるよう、ランナーである患者さんに伴走するのが皮膚科医の役目です。

- 1982年 東京女子医科大学卒業
東京女子医科大学皮膚科研修医
- 1984年～1986年 スイス、ジュネーブ大学皮膚科
および免疫病理学教室に留学
- 1986年 東京女子医科大学皮膚科助手
- 1990年 東京女子医科大学医学博士
- 1992年 東京女子医科大学皮膚科講師
- 2000年 東京女子医科大学皮膚科助教授
- 2005年4月 東京女子医科大学附属
女性生涯健康センター副所長・助教授
- 2007年4月 東京女子医科大学附属
女性生涯健康センター副所長・教授

気管支喘息治療の最前線

—吸入ステロイド・長時間作用性気管支拡張薬
配合剤や抗IgE抗体療法を中心に—

帝京大学医学部 呼吸器・アレルギー内科 教授

山口 正雄先生

喘息治療において、この5年間のうちに吸入ステロイド・長時間作用性気管支拡張薬の配合剤（アドエア、シムビコート）や新たな吸入ステロイド薬、抗IgE抗体（ソレア）が導入されました。従来の薬剤では喘息の症状が残っていた患者さんにおいて、これらの新規薬剤を使って症状が改善することも多く経験しますが、吸入をしっかりと継続していくことが大切です。

- 1987年3月 東京大学医学部医学科卒業
- 1987年6月 東京大学医学部附属病院内科研修医
- 1988年6月 茨城県日立製作所日立総合病院内科研修医
- 1989年6月 東京大学医学部附属病院物療内科医員
- 1994年7月 米国ボストン Beth Israel Hospital
病理学研究員（Stephen J. Galli 教授）
- 1998年1月 山梨県立中央病院
アレルギー内科医長
- 1998年7月 東京大学医学部附属病院
アレルギー・リウマチ内科助手
- 2008年5月 同 講師
- 2009年4月 帝京大学医学部
呼吸器・アレルギー内科准教授
- 2011年4月 帝京大学医学部
呼吸器・アレルギー内科教授



<講演会会場>

東医健保会館
東京都新宿区南元町4
TEL 03-3353-4311

**ボランティアに
参加しませんか?!**

講演会運営スタッフを募集しています。年に2回の講演会をいっしょに盛り上げませんか?ぜひ上記までご連絡ください。お待ちしております。

<参加申込・お問合せ先>

NPO法人日本アレルギー友の会

TEL 03-3634-0865

FAX 03-3634-0850

<http://www.allergy.gr.jp/>

E-mail j-allergy@nifty.com

毎週火曜日・土曜日11:00～16:00

5月21日～5月26日は毎日受付

アトピー性 皮膚炎・ ぜんそく

もつと良くなるための治療最前線 講演会とQ&A

■ 2012年5月27日(日)
12:30~16:00(開場12:00)
■ 東医健保会館ホール
JR信濃町下車4分

主催 NPO法人 日本アレルギー友の会
後援 公益財団法人 日本アレルギー協会

～第一部～

講演



1、アトピー性皮膚炎の治療
—皮膚と心を考える—

東京女子医科大学附属女性生涯健康センター
副所長・教授(皮膚科兼務)
檜垣祐子 先生

2、気管支喘息治療の最前線

～吸入ステロイド・長時間作用性気管支拡張薬配合剤や
抗IgE抗体療法を中心に～

帝京大学医学部 呼吸器・アレルギー内科
教授 山口 正雄先生



3、ベテラン患者からのアドバイス —忘れがちな日々のケアの大切さ—

ぜんそく部門：坂本 直美
アトピー性皮膚炎部門：丸山 恵理

～第二部～ 先生を囲んでQ&A

現在の治療に満足していますか。不安なこと、不明点はすべて主治医との
コミュニケーションで解消されていますか。
第二部は、アトピー性皮膚炎・ぜんそくのそれぞれのグループに分かれて、
講師を囲んでQ&Aを行います。ご自身の不安や悩みを直接専門医に質問す
ることができます。セカンドオピニオンを受ける絶好のチャンスです。

※来場者の方に敏感肌用スキンケア用品のサンプル・治療情報冊子を差し上げます!